



第74回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



トラック：2018年8月17日(木)～19日(日) ロード：9月2日(日)
 トラック競技：伊豆ベロドローム(室内 250m) ロード競技：長野県大町市美麻地区 公道周回コース 1周 13.4km
 主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 大町市 運営協力：長野県自転車競技連盟
 後援：スポーツ庁 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター 大町市教育委員会 大町市観光協会 大町市体育協会
 大町美麻ロードレース大会実行委員会 美麻地域づくり会議
 協賛：(公財)JKA (公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ
 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) セイコータイムシステム株式会社 ドリームシーカーレーシングチーム
 マルコム株式会社 医療法人社団厚生会横澤内科医院 株式会社コモ 株式会社相模組 株式会社長澤設備工業 鹿島槍スポーツウエア 北安藤造株式会社
 JA大北 株式会社市野屋商店 株式会社薄井商店 合資会社横川商店 株式会社トーエル セブンイレブン大町上橋店 株式会社こうぞく 有限会社フイッテ
 有限会社リアオート美麻 株式会社倉品組 株式会社高橋組 有限会社丸中興業 有限会社伊藤組 北陸コカ・コーポロング株式会社 株式会社甲信マツダ
 協力：株式会社日直商会 北アルプス地域振興局 大町建設事務所 大町警察署 北アルプス広域大町消防署

Communique- 3

2018年8月15日

チーフコミッサー 近嵐智加良

トラック競技

1. チーム役員登録証(トラック)および正選手届、補欠選手起用届

トラック監督会議の際に、チーム役員登録証(トラック)をセクレタリに提出すること。今回のインカレに参加する大学のすべてのチームが提出するものとし、未提出及び提出の大幅な遅れに関してはペナルティを科す場合もある。

団体種目(4km チームパーシュート/男女チームスプリント)はラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始の**1時間前まで**に、出走者変更の有無に関わらず出走選手届を、セクレタリに提出すること。個人種目においての補欠起用に関しては補欠選手起用届を当該競技番組の最初のラウンドの招集時に招集受付(またはセクレタリ)に提出する。

各用紙については、当連盟ホームページから前もってダウンロードしてプリントし、もれなく記入してそれぞれ指定した提出先に遅れないように提出する。

2. 空気抵抗を減じるなど競技者能力に影響をあたえるため、あるいは競技者の身体を強制するため(圧迫、引張、支持)の加圧的な衣類または物は禁じる。屋内トラックにおける競技ではシューズカバーの使用は禁止される。(2016JCF 規則第8条6項)

3. タンデム・スプリントに使用する自転車の器材

(JICF 沿革・組織・憲章・規程Ver.11.0 2016.04.01.版 p15～p16を参照)

http://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2016/04/16jicf_gakuren_annai_160401.pdf

タンデム・スプリントに使用する自転車については、上記のタンデム用自転車器材に関する規定に加え、

後輪の駆動側にチェーン引き又は同等の効力をもつ緩み防止装置の装着を義務付ける。

装着なき場合はレース・練習を問わず使用を禁ずる。

4. 招集・バイクインスペクション

招集は全種目の最初のラウンドのみで行う。この招集はチーム役員登録者である代理の者でも可とする。

バイクチェックはすべての種目のすべてのラウンド毎に行う。**選手本人が走る姿(ユニフォーム・ゼッケン・ヘルメット着用、自転車持参)**で参集のこと。各ヒートに於いて、バイクチェック後のポジション変更、車輪変更等の器材の変更は認められない。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>



第74回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



トラック：2018年8月17日(木)～19日(日) ロード：9月2日(日)
 トラック競技：伊豆ベロドローム(室内 250m) ロード競技：長野県大町市美麻地区 公道周回コース 1周 13.4km
 主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 大町市 運営協力：長野県自転車競技連盟
 後援：スポーツ庁 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター 大町市教育委員会 大町市観光協会 大町市体育協会
 大町美麻ロードレース大会実行委員会 美麻地域づくり会議
 協賛：(公財)JKA (公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ
 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) セイコータイムシステム株式会社 ドリームシーカーレーシングチーム
 マルコム株式会社 医療法人社団厚生会横澤内科医院 株式会社コモ 株式会社相模組 株式会社長澤設備工業 鹿島槍スポーツウエアレッジ 北安藤造株式会社
 JA大北 株式会社市野屋商店 株式会社薄井商店 合資会社横川商店 株式会社トーエル セブンイレブン大町上橋店 株式会社こうそく 有限会社フイッテ
 有限会社リアオート美麻 株式会社倉品組 株式会社高橋組 有限会社丸中興業 有限会社伊藤組 北陸コカ・コーポロトリング株式会社 株式会社甲信マツダ
 協力：株式会社日直商会 北アルプス地域振興局 大町建設事務所 大町警察署 北アルプス広域大町消防署

5. パーシュート 又は タイムトライアル種目

スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コーチとして1名だけがそこに留まることができるが、軽率な応援身振りなどは一切認められない。(2016JCF 規則第59条)

6. タンデム・スプリント

予選は、6周を周回する内の最後の1周(250m)を計時する。また、対戦に入ってから6周回で行う。1/4決勝、5-8位決定予選、7-8位決定戦、5-6位決定戦は、1回戦制で行う。

7. ケイリン

エントリーが27名のため予選を4組で行い、各組2位上がり、敗者復活戦を4組で行い、各組1位上がりとして、それぞれ1/2決勝へ進出する。
 1/2決勝から各組上位3名が決勝へ、下位3名は7～12位決定戦に進出できる。
 デルニーライダー追走時も、違反行為は厳に慎むこと。

8. オムニアム

男子オムニアムは、エントリー30名のため予選(ポイントレース 15km)を2組で行う。各組10名上がり、本戦を20名で行う。

9. ボディーナンバー(ゼッケン)

トラック競技最終日にボディーナンバーは必ず返却すること。

チーム単位まとめて大会本部へ返却すること。

紛失、未返却は1枚1,000円のペナルティーを科す。

ボディーナンバーをつける際の安全ピンは各校で用意すること。

ボディーナンバーの装着は一般規則に準じる。(右図参照)

オムニアム、マディソンでは、専用のボディーナンバーとフレームプレートを使用のこと。フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側につけること(ベロドロームの場合)。

乗車した姿勢で、出来るだけシワがよらない様に、

装着してください。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>



第74回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



トラック：2018年8月17日(木)～19日(日) ロード：9月2日(日)
 トラック競技：伊豆ベロドローム(室内250m) ロード競技：長野県大町市美麻地区 公道周回コース1周13.4km
 主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟 大町市 運営協力：長野県自転車競技連盟
 後援：スポーツ庁 一般財団法人日本サイクルスポーツセンター 大町市教育委員会 大町市観光協会 大町市体育協会
 大町美麻ロードレース大会実行委員会 美麻地域づくり会議
 協賛：(公財)JKA (公社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ
 WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS) セイコータイムシステム株式会社 ドリームシーカーレーシングチーム
 マルコム株式会社 医療法人社団厚生会横澤内科医院 株式会社コモ 株式会社相模組 株式会社長澤設備工業 鹿島橋スポーツウイレッジ 北安藤造株式会社
 JA大北 株式会社市野屋商店 株式会社薄井商店 合資会社横川商店 株式会社トーエル セブンイレブン大町上橋店 株式会社こうそく 有限会社フイッテ
 有限会社リアオート美麻 株式会社倉品組 株式会社高橋組 有限会社丸中興業 有限会社伊藤組 北陸コカ・コーポリング株式会社 株式会社甲信マツダ
 協力：株式会社日直商会 北アルプス地域振興局 大町建設事務所 大町警察署 北アルプス広域大町消防署

10. ニュートラリゼーションへの対応

ニュートラリゼーションへの対応のため、チーム役員登録証に登録してある各校1名をサポートとしてホーム側又はバック側どちらか一方の出入口付近での待機を認める。

11. 表彰式

チームユニフォーム着用の事。サングラス・帽子の着用、サンダル履きは禁止する。

12. ハンドルバー、並びにアタッチメントバーの全ての端面には、バーエンドキャップを装着のこと。

また、安全のため滑ないようにハンドルバーにはバーテープを巻くこと。

13. トラック競技でのホルダー

- オムニアム(内側スタート)
- マディソン(内側スタート)
- スプリント
- タンデム
- ケイリン2走以降
- チームスプリント2走以降
- 4km チームパーシュート2走以降

に関しては、各チームでホルダーを用意して下さい。

以上



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>